

《YCUミッション》

横浜市立大学は、国際都市横浜における知識基盤社会の都市社会インフラとして、特に教育研究・医療の拠点機能を担うことをその使命とし、社会の発展に寄与する市民の誇りとなる大学を目指す。

※国際化、地域貢献は、教育、研究、医療という本学における全活動の共通目標です。



大学を取り巻く状況

★18歳人口減少・超高齢社会の到来  
 ・18歳人口減少に伴う大学間競争の激化  
 ・超高齢社会の到来等による医療ニーズの変化、医療保険制度改革(2018年度より県が国保運営 等)

★国の大学政策のさらなる推進  
 ・国立大学の3分類化や交付金配分見直し等の改革推進、学校教育法改正(戦略的な運営体制整備)  
 ・思考力・判断力等重視の2020年度大学入試改革(中教審)

★社会を支える人材の育成開発  
 ・企業・官庁での積極的な女性登用(「女性活用推進法案」)  
 ・グローバル人材、自発的に物事に取り組む人材のニーズ(アクティブ・ラーニングの広まり 等)

★産業競争力、研究開発力の強化  
 ・国家戦略特区「東京圏」での具体的取組(病床規制の緩和、保険外併用診療拡充等)  
 ・医療分野の研究開発力加速化に向けた体制づくり(AMED=日本医療研究開発機構)

各大学が危機感を持って、特色に応じた改革を加速化(少人数教育、キャリア教育の充実等教育の質を高める取組)

市・県との協働・連携  
 ★横浜市  
 ●中期4か年計画上の関わり  
 ・大学と連携した地域社会づくり  
 ・先進的医療の推進 等  
 ●国際化、医療分野の機能強化に向けた局再編成  
 ●「がん撲滅対策推進条例」に基づく施策の推進  
 ●高大接続(市立高校との連携等) 等  
 ★金沢区  
 ●大学COC事業  
 ●地元企業との連携 等  
 ★神奈川県  
 ●専門医育成プログラム  
 ●県立高校との連携 等  
 ★その他  
 ●横浜市・神奈川県と連携した「2020東京オリンピック・パラリンピック」開催支援

平成27年度は「第2期中期計画(23~28年度)」の5年目にあたり、中期計画の仕上げに向けた取組の強化や第3期中期計画を見据えた課題整理等が求められます。教職員一体となって第3期に向けた基盤づくりを着実に進めます。

教育・学生支援

※(P●●)は年度計画表のページ数を示す。

- ◇ グローバル人材の育成・国際交流の推進
  - ・第6回アカデミックコンソーシアム総会横浜開催及びSUDP(持続可能な都市課題共通教育プログラム)の新規開講等による学生交流等の拡充(P5)
  - ・Practical English Center福浦分室の開設やAdvanced Practical English等、継続して英語を学べる環境の整備・強化(P7)
  - ・リヨン第3大学、マレーシア科学大学等との交換留学プログラムの拡充(P9)
  - ・JICA人材育成支援プログラム(ABEイニシアティブ等)を通じた優秀な留学生の受入れ、及び国際マネジメント研究科でのサイエンス・サマープログラムの実施(P9,13)
  - ・横浜市国際事業との連携強化(P7)
- ◇ 教育の質の向上に向けた取組の推進
  - ・教育手法の開発や教育の質の向上を目的とした、取組支援の公募(P21)
  - ・質的改革構想を踏まえ、国際化や大学院における融合型教育の推進に向けた、第3期中期計画への反映(P21)
  - ・大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価の受審(P43)
- ◇ 医学教育の質の保証
  - ・医学教育センターを中心として、国際基準に適合し、モラル教育の強化や、市大ならではの特色あるカリキュラムを展開(P1,10,11)
  - ・海外におけるリサーチ・クラークシップの拡大(P10)
  - ・医学教育分野別評価(試行)の受審(P3)
  - ・看護キャリア開発支援センターの設置による一貫したキャリア開発(P12)
- ◇ 学生支援の充実
  - ・卒業生や企業等との連携強化による、学生のキャリア支援の充実(P17)
  - ・図書館システムの更新と学修環境の充実(P4)
- ◇ 地域貢献の推進(大学COC事業等)
  - ・ボランティア支援室を中心としたボランティア活動の推進と地域との連携強化(P16)
  - ・並木ラボにおける行政や地域住民と連携した地域活性化の推進(P18)
  - ・留学生を含む学生同士が共同生活を行うシェアハウスの運営開始(P15)
  - ・横浜・神奈川の地域課題と解決策を考える「地域志向科目」履修推奨の開始(P6)
  - ・高大連携重点校に南高校を加え4校に拡充、及びスーパーグローバルハイスクールの連携大学として講座を提供(P5)

研究

※(P●●)は年度計画表のページ数を示す。

- ◇ URAを活用した研究の推進 (P20)
  - ・先端医学科学研究センター研究棟増築(平成27年8月竣工予定)に伴う研究機能の強化
  - ・URA推進室の設置による研究資金(科学研究費補助金や国家プロジェクト等)の獲得拡大に向けた支援や知的財産活用の強化(P17)
- ◇ 研究戦略と地域還元の推進
  - ・第2期戦略的研究推進費における学際的・複合的ユニット研究の更なる展開(P17)
  - ・都市政策部門における本学教員の地域貢献活動の推進(P18)
  - ・次世代臨床研究センターの整備及び臨床研究中核病院の認定への取組、横浜臨床研究ネットワークの活用(P26)

医療

※【附】は附属病院、【セ】は市民総合医療センターの取組を示す。

- ◇ 市の政策医療への対応・医療機能の充実
  - ・化学療法センターの稼働、手術支援ロボットの活用等によるがん治療機能の向上【附】(P22)
  - ・先進的医療の推進等による市民のがん治療の選択肢拡大【附】(P22,23)
  - ・横浜市重症外傷センターの本格稼働やバリ公立病院連合との連携等による救急医療機能の向上【セ】(P22,24)
  - ・視覚再生外科医療等の再生医療に関する治験・臨床研究の推進【セ】(P23,24,26)
- ◇ 医師や看護師等の人材育成・確保・労働環境整備 (P27)
  - ・専門医養成プログラム策定や研修の充実等による専門医及び臨床研修医の育成
  - ・保育所運営の充実をはじめとした女性医師支援に向けた取組(P29)
  - ・看護キャリア開発支援センターの設置による一貫したキャリア開発(再掲)(P28)
- ◇ 医療安全管理体制・病院の運営等
  - ・eラーニング研修をはじめ、様々な医療安全管理対策の推進(P30)
  - ・オリエンテーション等、入院支援業務の窓口の整備(P31,33)
  - ・病院情報システムの更新による診療機能の向上【附】(P34,35)
  - ・分散会計導入、診療スペース拡充、多言語化対応等、患者サービス向上のための取組【セ】(P33)

法人経営

- ◇ ガバナンス・コンプライアンス
  - ・第3期中期計画策定を通じた方向性の共有や各会議体の機能の明確化・活性化(P36)
- ◇ 人材育成
  - ・職員育成プロジェクトの実施や人材育成プラン見直し等による制度改善や研修拡充(P37)
- ◇ 広報充実・自己収入増
  - ・多様な媒体による大学・病院の特長を踏まえた広報、分かりやすいPR等による寄附拡充等(P41,42)
- ◇ 卒業生との関係強化
  - ・卒業生向けウェブサイト制作等、積極的な情報発信及び大学の利用促進による関係強化(P41)
- ◇ 個人情報保護
  - ・実践的な研修等による意識改革、組織力の向上(P40)

学術院における教員の連携促進  
 切れ目のない医療人材育成